

令和5年度「DMOやツアーオペレーター等の連携によるアドベンチャー旅行者受入拡大に向けた実証」業務

ATWS で催行されたプレサミット・アドベンチャー（ATWS2023 の公式エクスカージョンであり、期間は概ね 1 週間程度。道内 15 コース、道外 7 コースが実施された。以下「PSA」という。）を基本とし、全国から募集したDMO 等と、北海道内のAT 関係者が集って参加する実地研修を実施することによる連携強化と品質向上、機会逸失の低減及び日本・北海道におけるAT の受入体制の強化に向けた効果的な方策を検討・実証した。

実施内容

1. 連携強化と品質向上を目指す実地研修プログラムの作成・実証

①講師の選定

アドベンチャートラベルにおける知見を有する者として、ATTAアンバサダーである鶴雅リゾート株式会社の高田茂氏と同会社の高田健右氏を有識者として選定した。



②事前研修の実施

実地研修の効果を高めること、および参加者の顔合わせを目的に、オンラインにて事前研修を実施した。

■実施日時 2024年2月16日（金）13:30～15:30

■実施内容 参加者の自己紹介、高田健右氏による講義、北海道宝島旅行社 菊地敏孝による講義

②事前研修の実施

PRE 4 EAST HOKKAIDO VOLCANOES HIKING & CYCLING, 5 DAY TOUR のテーマである「阿寒摩周国立公園の火山活動とそれによってできた地質や温泉の恵み」を活用し、冬季で実施可能なアクティビティを実施した。

■実施日時 令和6年2月25日（日）～2月28日（水）

■参加者数 8名（道内5名、道外3名）

■実施内容 1日目 趣旨説明、アイスブレイク／2日目～3日目 地域のアクティビティの体験、意見交換会／3日目 ツアー造成・発表内容ブラッシュアップワークショップ

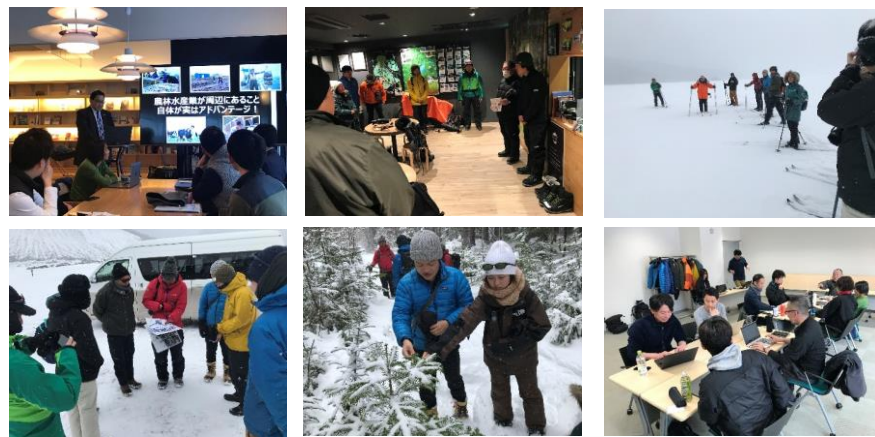
2. 参加者における実地研修実施による効果の把握

①ネットワーク構築につながったと回答する参加者 10割

②AT に携わる上で必要な知見を得られたと回答する参加者 10割

③意識変容が生じた参加者 約6割

→「ツアーの造成」に対する意識変容というよりは、「アドベンチャートラベル自体」や「地域内の役割」に対する意識変容等の別の部分での変容との回答があった。



令和6年2月25日～2月28日（3泊4日、阿寒・川湯エリア）で実施した研修の様子

今後の研修案

実証内容と参加者からのアンケート結果より、今後の研修案としては下記のとおりとなる。

参加申し込み	事前オンライン研修	実地研修	事後オンライン研修
【狙い】 ・参加者の課題や学びたい事項の把握	【狙い】 ・参加者同士の顔合わせ ・コーディネーターの役割の基礎の理解 ・研修の意図の理解	【狙い】 ・現場の動きの理解（ガイド、コーディネーター、スルーガイド） ・AT顧客が求めるツアーの理解深耕 ・参加者同士のネットワーク／取り組みの相互理解	【狙い】 ・研修の学びの振り返りと整理 ・研修の学びを次に活かすための取り組み
【申し込み案】 ・氏名 ・所属 ・当日の連絡先 ・メールアドレス ・各種アクティビティに必要な情報 ・研修に期待していること、学びたいこと	【実施概要】 ・2時間程度／オンライン形式 ・参加者同士の自己紹介 ・講師による「コーディネーター役割研修」 ・事務局による研修の意図と、学んでいただきたいポイントの説明 課題の再確認	【実施概要】 ・3泊4日で実施／10名以内で実施 ・合宿形式 ・初日：アイスブレイク・概要説明／講師による研修／参加者の取り組み説明 ・2日目～3日目：15時まで実地体験研修。 それ以降の時間で講師による研修及び、参加者同士の意見交換 ・最終日：参加者の取り組み説明のブラッシュアップと発表	【実施概要】 ・2時間程度／オンライン形式 ・事務局から研修の振り返り ・参加者からの研修フィードバックと今後活かしていきたいこと ・事務局から今後のご案内
課題	課題内容の送付 宿題・課題の設定 （自身のツアー造成）	初日発表・フィードバック／ 最終日ブラッシュアップ内容プレゼン	振り返り